



# 町長の行政報告をお知らせします

八峰町6月定例議会が16日から17日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 無火災継続中。秋田県消防協会 能代市山本郡支部より表彰

今年も、これまで住宅・原野とも火災がなく、平成20年10月26日以降無火災が続いており、6月5日、秋田県消防協会能代市山本郡支部から表彰を受けたところであり、今後とも、消防関係者と連携しながら、2年連続年間無火災に向けて頑張ります。

## 交通死亡事故ゼロ1,100日達成 飲酒運転は県内25市町村中24位

当町は、5月末現在で交通死亡事故ゼロ1,100日を達成したものの、秋田県で行っている飲酒運転等住居別実態調査において、酒気帯び3件、飲酒による負傷事故1件と、4月末日現在で県内25市町村中24位という最悪とも言える結果となっています。家庭崩壊にも繋がりがかねない飲酒運転の追放・撲滅のため、さらに関係機関と連携を深めながら、今一度「飲んだら乗るな」を徹底し、上位ランクインを目指して取り組みます。

## 行政協力員会議を開催 自治会への助成制度を検討

行政協力員会議を6月4日、フアガスで開催しました。今回は、主に町の主要事業について理解をいただくための会議でした。



また、新町発足5年目となり、自治会への助成制度について再考すべき時期にきているとの観点から、自治会の財政状況を把握するため、各自治会の総会資料を提供していただくこととし、その資料に基づいて新たに自治会への助成のあり方を検討することとしています。

## 八峰町ジオパーク推進協議会設立 平成24年度の日本ジオパーク 認定申請を目指す

ジオパーク推進協議会の設立については、3月末に町を含めた有志による準備委員会を開催し、協議会の設立準備を進めてきました。協議会に参加の意向を示していた各種団体等に働きかけを行うなどして、5月7日、あきた白神体

ています。

事業の進捗状況ですが、現在、受注業者のNTT秋田支店において実施設計業務と並行して東北電力やJRとの協議や諸手続きを行っているところとす。

実施設計については間もなく完成しますが、さらに東北総合通信局の設計審査が必要となるので、現場工事に入るのは7月に入ってからと考えています。

契約上の完成工期は来年1月14日となっておりますが、現場のスケジュールとしては11月中には概ね工事を終了し、高速インターネットのサービス提供については12月1日から、小入川・岩館地区の地デジ放送の開始については12月中旬頃を予定しています。



## 子ども手当 初回は1,883万7千円を支給

4月から制度がスタートした子ども手当が6月4日に最初の支給

となり、4月及び5月の2ヵ月分について、727人分、総額で1,883万7千円を支給しました。

支給対象となる中学生以下の対象人数は4月1日現在、八峰町全体で855人ですが、このうち保護者が公務員の場合には勤務先の各官公庁から支給となるため除かれ、今回支給となったのは、児童手当制度から切り替わった方や、新たに対象となり申請した方となっています。今回の支給は10月5日となりますが、子ども手当を受けるためには役場に申請しなければならぬ場合もあるため、申請漏れがないよう制度の内容を周知しながら適切に事務を執行するよう努めます。

## 子宮頸がん ワクチン接種料金全額助成

子宮頸がんについては、日本では年間約1万5千人が発症し、約3千500人が死亡しているとされており、子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルスの感染が原因で発症するものと言われています。この子宮頸がんの予防に有効なワクチンが日本でも昨年10月に承認され、12月から接種できるようになりましたが、接種は任意で、3回の接種料金が約4万5千から6万円と高額なこともあり、残念ながらあまり普及していません。

## 春の全町一斉清掃 より一層のマナー向上を

町としては、ワクチン接種による感染予防効果が高く、ワクチン接種と検診により子宮頸がんによる死亡を防ぐことができるとされていることから、予防効果がきわめて高い中学生へのワクチン接種を推進していくこととしました。今年度は、中学生に加え、19歳までの子宮頸がん検診の対象とならない方々を対象に、ワクチン接種料金の全額助成を行います。

春の全町一斉清掃が4月25日に行われ、早朝からたくさんの方の皆様が参加くださいました。

例年のように八森地区においては側溝の泥上げや地域周辺の清掃を、また、峰浜地区においては地域の道路脇に捨てられている缶・ビン・ペットボトル等を拾い集め、指定場所に運搬していただきました。

今回集められたごみは、燃えるごみが約1,050kg、燃えないごみが約770kgで、昨年と比べる



験センターにおいて設立総会を開催し、参加者の絶大な賛同を得て「八峰町ジオパーク推進協議会」が発足しました。

八峰町ジオパーク構想は八峰町に存在する貴重な地質資源を核としながら、教育や体験活動への活用、ジオツーリズムなど新しいタイプの観光資源の発掘、ジオに合わせた食の開発や町の情報発信など、地元の人達が主体となって実践する地域活性化の取組と捉えています。簡単に言えば、地質資源の「ジオ」を起爆剤とした「まち興しの取組」と考えています。日本ジオパークの認定を受けるためには、ジオパークを知る活動や広める活動に地元の人々が積極的に関わっているかどうか、実際に実践活動を行っているかどうか、最も重視されるポイントであると言われています。

そのため、1年目、2年目は研修会・講演会の開催や先進地視察による会員の研鑽、ガイド養成、ガイド活動の実績づくりに集中し、3年目に認定申請する計画としています。

## 光ブロードバンド 12月中のサービス開始を目指す

光ファイバー網整備事業に対する町民の関心が大変高いものがあり、多くの問い合わせをいただい

と燃えるごみの量は同じでしたが、燃えないごみは約450kg減と大幅に減っており、引き続きマナーの向上や不法投棄防止の啓発を実施していきます。

一斉清掃に参加いただいた町民の皆様感謝申し上げます。7月10日には八森地区の海岸清掃を行うこととしていますので、これにも町民多数のご協力をお願いします。

## 八峰町子ども園統合等 検討委員会を立ち上げる

6月3日、少子化に伴う園児数の減少や老朽化した園舎、多様な保育要望等の対応に向けた具体策を探るため「八峰町子ども園統合等検討委員会」を立ち上げました。構成メンバーは園児の保護者など14名で、1回目の会議では、町長から委嘱状交付のあと、検討委員会の目的や今後のスケジュールなどを説明したところです。委員会からは、保育サービスの内容や八森地区子ども園の統合について様々な角度から調査・検討していただき、年内を目処に答申案をまとめていただきたいと思います。

## 「おらほの館」 売上高・年間客数ともに過去最高

峰浜産地形成促進施設「おらほの館」の定例総会が5月11日に開